日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER

No.131
2013/4/30

目　次

日本中東学会会長を終えるにあたって……2
第 **29** 回年次大会（**2013** 年 **5** 月 **11**～**12** 日）が開催されます……3
訂正とお詫び……6
寄贈図書……6
会員の異動……7
事務局より……8
編集後記……8

日本中東学会会長を終えるにあたって

臼杵　陽

あっという間に2年間の日本中東学会会長職も終わります。会長に就任したのがアラブ革命（あるいは「アラブの春」）と3・11の東日本大震災・津波と福島原発事故が起きた直後でした。したがって、会長就任のあいさつも、激動するアラブ世界と混乱する日本での二つの歴史的事件への言及から始めました。それから2年が経過しました。チュニジア、エジプト、リビア、そしてイエメンでは政権交代が実現しました。アラブ世界は大きく変わったのです。しかし、シリアでは依然内戦が続いています。

さて、日本中東学会の会員数もようやく７００人に届くところまでになり、それなりの規模の地域研究学会へと成長しました。ただ、学会を取り巻く状況も必ずしも明るいものではありません。一番の問題は優秀な若手研究者、とりわけ女性研究者が育ってきているにもかかわらず、それを受け入れるための大学・研究機関のポストが必ずしもじゅうぶんではないという点です。現状ではイスラーム地域研究の各拠点研究機関がそれなりの受け皿となっていますが、学会としても若手研究者を支援するために研究環境の整備をいろいろなルートを通じて関係当局に要請していく必要があります。

学会の活性化という観点から、今回新たに選出された第15期理事会の構成を見ますと、世代が一挙に若返えりました。理事会の若返りの傾向が定着してほしいものです。日本における中東研究もこれからより積極的に世界に向けて発信していく新たな時代に入ったと考えるからです。年次大会における韓国中東学会との定期的な相互の交流、アジア中東学会連合（AFMA）や中東学会世界大会（WOCMES）といった国際学会との関係強化を通じて日本中東学会の存在感は次第に増してきています。会員の方々の中には個人の立場で北米中東学会（MESA）やイギリス中東学会（BRISMES）に参加されている方も少なからずいらっしゃるでしょう。学会を通じてだけではなく、学会員個々人を通して日本の中東研究のグローバル化は確実に進んでいます。これは若手研究者による積極的な姿勢の帰結ともいえるでしょう。

日本中東学会も再来年には30周年を迎えます。この節目に向けて学会自体が刷新していかなければならないことはいうまでもありません。とはいいながら、学会運営自体は必ずしも順風満帆とはいえません。そもそも、学会運営は自発的な参加が前提となっています。しかし、大学・研究機関等に定職をもつ多くの学会員は日々、事務的な日常業務に忙殺され、学会活動どころではないというのが現状です。しかし、学会をよりいっそう活性化するためには学会員の一人ひとりの学会への積極的な参加が求められています。

最後になりましたが、私が会長という重職をとにもかくにもまっとうできたのも会員の皆様のご理解と理事の方々のご協力のおかげです。改めて感謝申し上げる次第で

す。理事会の職掌分担を明確にして、理事による分業体制をとったために、国際交流や AJAMES の編集をはじめとする各業務が比較的円滑に進むようになったことはここで改めて強調しておきたいと思います。2013 年度からは第 15 期理事会の栗田禎子会長および山口昭彦事務局長にバトンタッチすることになりますが、日本中東学会の今後のさらなる発展を祈念するものです。

第 29 回年次大会（2013 年 5 月 11〜12 日）が開催されます

5 月 11 日(土)・12 日(日)、大阪大学豊中キャンパスにおいて、第 29 回年次大会が開催されます。

11 日は 13 時より公開イベントを予定しております。第 1 部は「中東研究における言語教育を考える　〜学ぶ立場と教える立場〜」と題したシンポジウム、第 2 部は上方講談師の旭堂南海氏による講談「アリババと四十人の盗賊」です。

12 日は午前 9 時より、8 部会に分かれて研究発表・企画セッションを、文法経講義棟にておこないます。両日のプログラムにつきましては、先日お送りしましたプログラム修正版および学会ホームページの「年次大会」をご覧ください。

なお、12 日の企画セッション 1「イラン映画とその社会的背景についての総合的研究」は、”Comparative Studies on Iranian Cinema and Its Social Contexts”として英語で行われます。ご留意ください。詳細は英文プログラムをご覧ください。

事前振り込みをなされてない方も、当日ご参加いただけます。

当日の参加費は会場受付でお支払いください(2000 円)。

また、懇親会の当日お支払いは 6000 円(学生会員 5000 円)です。

【アクセス】

(電車)

○大阪駅・新大阪駅から地下鉄御堂筋線(江坂経由北大阪急行)で千里中央へ。
　大阪モノレールで柴原駅下車。

○梅田駅から阪急宝塚線で石橋駅下車(商店街とは逆の「石橋阪大下」方向へ)。

(飛行機)

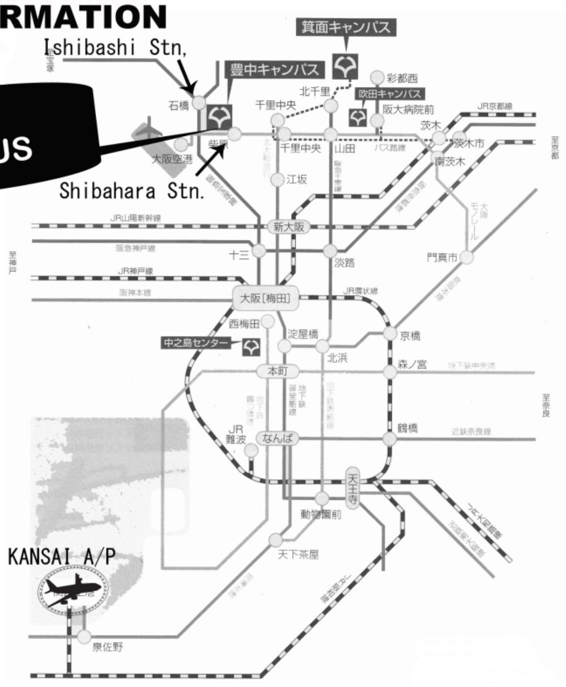
○大阪空港から大阪モノレールで柴原駅下車。

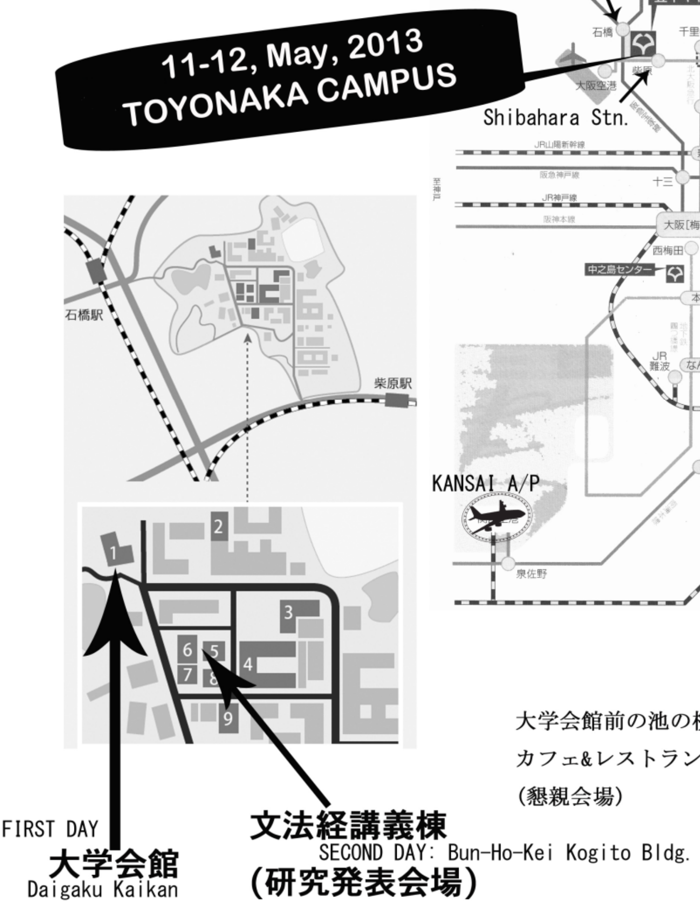
日本中東学会第 29 回年次大会実行委員会事務局
james2013osaka@gmail.com

11 日の公開イベント会場「大学会館」

11 日の懇親会会場「宙（そら）」

ACCESS INFORMATION





大学会館前の池の横が
カフェ&レストラン「宙」
(懇親会場)

年報（AJAMES）編集委員会連絡先の変更

編集委員長の交代にともない、編集委員会の連絡先が下記の通り、変更となりました。

〒104-0054
東京都中央区勝どき　1-13-1　イヌイビル・カチドキ
一般財団法人　日本エネルギー経済研究所　中東研究センター
保坂修司
電子メール：ajames-editor@tufs.ac.jp

訂正とお詫び

前号のニューズレター（No.130）の 3 ページ、【15 期新理事会報告】のところで第 15 期理事会の任務分掌の一部が紹介されていますが、「副編集委員長：江川ひかり、粕谷元」とあるのは、「副編集委員長：林佳世子、粕谷元」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

なお、理事の任務分掌の全体につきましては、次号ニューズレターで掲載いたします。（山口　昭彦）

寄贈図書

【単行本】

三島海雲記念財団『三島海雲記念財団五十年のあゆみ』、東京：公益財団法人三島海雲記念財団、2012 年。

宮下陽子『現代トルコにおける政治的変遷と政党 1938〜2011――政治エリートの実証分析の視点から』、東京：学術出版会、2012 年。

宮本雅行、Nabil Hilmi Soukar『アディゲ語（西チェルケス語）文法入門』、宮本雅行、Nabil Hilmi Soukar、2012 年。

Ağuiçenoğlu, Hüseyin. *Zwischen Bindung und Abnabelung: Das „Mutterland“ in der Presse der Dobrudscha und der türkischen Zyprioten in postosmanischer Zeit (Istanbuler Texte und Studien 29)*. Würzburg: Ergon-Verlag GmbH, 2012.

Fukami, Naoko and Sato, Shohei (eds.). *Islam and Multiculturalism: Between Norms and Forms*. Tokyo: Organization for Islamic Area Studies, Waseda University, 2012.

Kalaitzidis, Kyriakos. Post-Byzantine Music Manuscripts as a Source for Oriental Secular Music

(15th to Early 19th Century) *(Istanbuler Texte und Studien 28)*. Würzburg: Ergon-Verlag GmbH, 2012.

【逐次刊行物】

『NIHU プログラム、イスラーム地域研究第 2 期研究実績報告書』、平成 23（2011）年度、早稲田大学イスラーム地域研究機構、2012 年。

『岡山市立オリエント美術館研究紀要』第 26 巻、岡山市立オリエント美術館、2012 年。

『季刊アラブ』No. 144、日本アラブ協会、2013 年。

『日本サウディアラビア協会報』No.228 March 2013、日本サウディアラビア協会、2013 年。

『地域研究コンソーシアム・ニューズレター』No. 13. 京都 : 地域研究コンソーシアム事務局、2012 年 10 月。

『東方学会報』No. 102、東方学会、2012 年 7 月。

Bulletin of the American Research Center in Egypt. No. 201 (Fall 2012). American Research Center in Egypt, 2012.

Bulletin of the School of Oriental and African Studies. Vol. 76, No. 1, Cambridge University Press, 2013.

Dimensions International. Saudi Aramco, Winter 2011 and Summer 2012.

Perceptions: Journal of International Affairs. Vol. XVII, No. 3 (Autumn 2012). The Center for Strategic Research of the Ministry of Foreign Affairs (SAM), Turkey, 2012.

会員の異動

【新入会員】

アブドリ・ケイワン

井口　有奈

井堂　有子

小林　周

鈴木　真吾

山本　健介

横山　隆弘

事務局より

新井和広前事務局長から事務局を引き継いで 1 ヶ月。業務に慣れるまもなく、年次大会（総会）準備、2013 年度予算策定、科研費、ニューズレターとあれこれ追われる慌ただしい毎日ですが、前事務局時代からお手伝いいただいている飯野りささんや北爪秀紀さんという強力な「助っ人」のおかげで、右往左往しつつもなんとかしのいできました。研修年で海外滞在中の新井前事務局長からも、判断に困るような問題が持ち上がるたびに適切な助言をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

新事務局の連絡先は、下記の通りです。

〒150-8938
東京都渋谷区広尾 4－3－1
聖心女子大学
山口昭彦研究室内
日本中東学会
電話：03-3407-5685（直通）
電話・ファックス：03-3407-5613（史学研究室）
電子メール：james@james1985.org

これより 2 年間、新井事務局長時代に進められた事務局業務の効率化をいっそう図りつつ、栗田禎子新会長のもと、いっそう円滑に学会運営を進められるよう努力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（山口　昭彦）

編集後記

本号よりニューズレターと担当となりました松本弘です。新米ゆえ、至らぬ点が多いと思いますが、なにとぞ、よろしくお願いいたします。

前任の山岸智子前理事よりはご丁寧な引き継ぎを、また新任の山口昭彦事務局長からはご助言とご協力をいただきました。そして、本号執筆者の方々からは貴重な原稿をいただきました。みなさま、お忙しいなか、本当にありがとうございました。この場をお借りして、御礼申し上げます。（松本弘）

会費納入のお願い

本会は会費前納制をとっております。前号からニューズレターを電子化したため、会員の皆様には会費納入用の郵便振替用紙を郵送することができません。お手数ですが、納入済の年度を各自で御確認の上、下記の口座（郵便振替、銀行）に口座をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。納入済の年度がお分かりにならない場合は、事務局まで気軽にお尋ねください。AJAMES に未送付分がある場合は、2012 年度以前の未納分会費の払込確認後お送りいたします。会費納入率は低い状態が続いており、学会事務局の運営にも支障を来しかねない状況です。是非ともご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

日本中東学会ニューズレター　第131 号

発行日　2013 年 4 月 30 日
発行所　日本中東学会事務局

日本中東学会事務局

〒150-8938
東京都渋谷区広尾 4-3-1
聖心女子大学
山口昭彦研究室内
日本中東学会事務局
電話：03-3407-5685（直通）
電話・ファックス：03-3407-5613（史学研究室）
E メール: james@james1985.org
http://www.james1985.org
郵便振替口座：00140-0-161096（日本中東学会）
銀行口座：三井住友銀行渋谷支店（普）5346808
（日本中東学会　代表　臼杵　陽）